

THE LENINGRAD STATE BALLET — Mikhailovsky Theatre —

《レニングラード国立バレエ》

～ミハイロフスキー劇場～

草刈民代 最後の「ジゼル」全幕!!

日本が世界に誇るプリマバレリーナ草刈民代のクラシック・バレエ全幕、最後の公演。
名門レニングラード国立バレエ団との「ジゼル」!!



Giselle

「ジゼル」全幕

音楽：A.アダン
振付：J.コラーリ、J.ペロー、M.ブティバ
改訂演出：N.ドゥルグーシ

ジゼル：草刈民代
アルベルト：ミハイル・シヴァコフ
管弦楽
レニングラード国立歌劇場管弦楽団

2009
1/31 (土)

午後4時開演

神奈川県民ホール

東急東横線直通、みなとみらい線「日本大通り」駅下車徒歩6分

S14,000円 A12,000円 B9,000円
C7,000円 D5,000円(税込)

(朝日メイトはS12,500円 A11,000円 B8,200円)
C6,500円 D4,500円 神奈川県芸術協会のみで受付)

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

草刈民代



ミハイル・シヴァコフ

●お申込み・お問合せ
神奈川県芸術協会
045-453-5080
www.kanagawa-geikyo.com

●プレイガイド
県民ホールチケットセンター
045-662-8866
チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード388-884)
イープラス eplus.jp (パソコン&携帯)
楽天チケット
http://ticket.rakuten.co.jp
ローソンチケット
0570-000-407 (Lコード38016)
他主要プレイガイドにて8月23日より発売

主催：朝日友の会/神奈川県芸術協会
神奈川県民ホール
後援：朝日新聞横浜総局

Giselle

草刈民代

クラシック・バレエ全幕、最後の公演「ジゼル」!!

「ドン・キホーテ」のキトリ、「白鳥の湖」のオデットなど古典バレエの主演から、創作バレエまで幅広いレパートリーを持ち、オリジナル版の日本初演となったローラン・ブティ振付の「若者と死」にも主演と数多くの作品に出演してきたプリマバレリーナ草刈民代が、クラシック・バレエ全幕公演の最後を名門レニングラード国立バレエ団と共に、ロマンティックバレエの最高傑作「ジゼル」で締めくくります。

草刈民代ファンはもちろん、バレエ好きの方、バレエを観た事のない方も見逃すことのできない公演となるでしょう。



草刈民代

Tamiyo Kusakari

小林紀子バレエアカデミーを経て、橘バレエ学校に学ぶ。1984年牧阿佐美バレエ団に入団。

繊細ながら芯の強さを併せ持ったダンサーとして、バレエの分野を越えてテレビCMや雑誌などでも活躍。映画「Shall we ダンス?」で映画初主演し、多くの話題をさらった。1996年日本アカデミー最優秀主演女優賞を獲得。キネマ旬報ベストテン新人女優賞、マドモアゼル・パルファム賞、ダイヤモンド・パーソナリティー賞などを受賞。

牧阿佐美バレエ団の主演のほか、様々なバレエ団へのゲスト出演、企画公演など多忙ながら充実した公演活動を行っている。主な海外バレエ団の現地公演としては1991年モスクワ・ダンチェンコ劇場「ドン・キホーテ」主演、1997年からはレニングラード国立バレエに「白鳥の湖」主演、2002年には日本を題材にした「竹取物語～月から来た姫～」の初演で主役をつとめた。99年オリジナル版での日本初演として話題になったローラン・ブティの「若者と死」に主演。2005年愛知万博ではブティ作品による「愛と祈り―星降る夜のバド・ドゥ」を企画・主演し、好評を得た。2006年秋には、自身が企画・プロデュース・出演した「ソワレ」公演を、ノリ・上海・台湾・香港、そして日本の8都市で成功させた。2007年イタリア・スポレート・フェスティバルに出演

1987年東京新聞主催全国舞踊コンクール第1位、文部大臣奨励賞。昭和63年度村松賞。平成2年度橘秋子賞優秀賞を受賞。1997年第13回服部智恵子賞を受賞。



草刈民代「ジゼル」(パートナーはイーゴリ・コロフ)

ミハイル・シヴァコフ

Mikhail Sivakov

1980年生まれ。1998年にワガノフ・バレエ学校を卒業。バレエ学校ではK.シャチーロフに学ぶ。同年レニングラード国立バレエに入団した。入団後まもなく、「ドン・キホーテ」で主役デビューを果たしている。

2001年イタリアのコンクールで金賞受賞。2002年のベルミ国際バレエ・コンクールでは、イリーナ・ベレン(金賞)のパートナーとして活躍、自身も見事ディプロマを授与された。

レパートリーは「白鳥の湖」の王子、「ジゼル」のアルベルト、「ドン・キホーテ」のバジルとエスパーダ、「くるみ割り人形」の王子、「海賊」のアリ、「竹取物語」の帝役ほか。ダイナミックかつ正確なテクニックが魅力のさわやかなダンサー。テレビCMにも登場し、話題になった。

レニングラード国立バレエ団 ～ミハイロフスキー劇場～

The Leningrad State Ballet ~Mikhailovsky Theatre~

白夜と芸術の都、サンクト・ペテルブルグで育まれてきたレニングラード国立バレエは、170余年の歴史と伝統が息づく名門バレエ団。そのエレガントで高貴な香りを漂わせるコール・ド・バレエのアンサンブルの美しさは、「世界最高峰のコール・ド・バレエ」と称賛されています。また、来日公演もすでに約950回を数え、全国の多くのお客様からご好評を博している。

そんな長い伝統を誇るレニングラード国立バレエは、昨年、ルジマトフが芸術監督に就任し、新たな歴史を刻み始めた。カリスマ性を持つリーダーのもと、ダンサーたちのモチベーションは今まで以上に高まり、シェスタコワやベレンらロシアを代表するプリマは一層の輝きを放ち、シヴァコフ、プハチョフら男性陣も充実。新たな指導者や団員も迎え、全体水準は、より一層高くなっている。

いま、世界で最も新鮮で勢いがあるレニングラード国立バレエが今年上演するのは昨年、ドルゲーシンがより繊細に再演出したロマンティックバレエの最高傑作「ジゼル」。

長い歴史の中で愛され続けてきた古典の名作を重厚、豪華に上演できるのは、実力派のダンサーたちと世界のトップソリストを迎えたレニングラード国立バレエ団なればこそ。そこにルジマトフ芸術監督の美学や感性が加わり舞台は、より感動的になること間違いなし!

レニングラード国立歌劇場管弦楽団の流麗な演奏とともに贈りする、エレガントな公演をどうぞお楽しみ下さい。